

12月の「つどい」ご案内

【とき】2024年12月20日(金) 13:30~15:30

【ところ】手稲区民センター 2階 第1・2会議室

札幌市手稲区前田1条11丁目 JR「手稲駅」下車 北口徒歩5分

【問い合わせ】家族の会事務局 ☎281-2969(火・水)

※出欠の予定をお知らせいただくと助かります。よろしくお願いします。

※1月の「つどい」は新年会のためお休みします。

ちょこっと学習会テーマは「日常生活自立支援事業」についての予定です。



11月の「つどい」は11月20日(水)南区民センターで11名の参加をいただき開催しました。「ちょこっと学習会」は、札幌家族の会大野会長より「一人で抱え込まず、介護保険の有効利用といろいろな人の協力を」のテーマで講話されました。前半は会長自ら出演した介護体験のテレビ動画を映写しました。後半はアルツハイマー型認知症の実母介護体験から、具体的に利用した介護保険・サービスの実例を多数紹介されました。また、多くの協力者での自宅介護のメリットや介護方法の一例として「嘘も方便」、「言葉遊び」についても説明されました。その後のいつもの語り合いでの皆さんの発言概要は、以下のとおりです。

※妻を介護 夫

初参加です。家内が5年前軽度の認知症と診断され、現在要介護2です。小規模多機能のデイサービス週4回とショートステイを利用しています。今の悩みは、家内が昔から参加していた老人クラブ会合に行くことを嫌がるようになったことです。認知症であることを公表し、老人クラブでも認知症サポーターの講習等もしていますが、やはり介護してみなければ実態はわかってもらえないかなと、悩んでいます。また、最初に診断を受けた医師はよかったのですが、数年し医師が変わると対応が投げやりで、病院は変えたくないのですが、しっかり診てくれる医師のいる病院を探しています。

※会員から

老人クラブや町内会などでの対応については本人が悪いのではなく、やはり周りの方の認知症の知識と理解がないことが一番の問題だと思います。札幌家族の会でも「認知症サポーター養成講座」を実施できます。家族の立場からの発信ができます。利用してください。

※会員から

認知症の方への対応については、多くの皆さんに理解を深めて頂きたい！家族ならではの強い願いですね。わかっていただけのように繰り返し発信していくこと必要だと思います。

※会員から

医師は、医療の専門知識も大事ですが、患者の心を言葉で治療する、穏やかに安心させることが大事といわれているようです。これができない先生も多いです。医師を選ぶときに参考にしたいと思います。

※会員から

お医者さんも本当にいろいろな方がおられます。かかりつけ医を見直してみるべき時があるかも？お医者さんの意識改革が進んでくことを願わずにはられません。

※会員から

私の場合、夫が通院していた病院が末期になるまで診てくれました。私は特別困りごとなく過ごせました。よい先生で、また看護師さんもやさしい方が多かったと思います。

※会員から

最近皆さん病院探しでは苦労されています。偶然良い先生に当たる場合もありますが、だめかなと感じたときはケアマネジャーなど地域事情に詳しい方の意見を聞いて、思い切って病院変更を判断する必要があるかと思います。

※母と同居 娘

5年前位に入会しました。11年間特養の認知症フロアで身体介護しました。介護福祉士であるので何かお役に立つことがあればと思っています。母は84才要支援(年齢相応の手間はかかってきました)また、叔母姉妹はグループホームに入りました。今日は具体的な困っている話をきけてよかったです。

※夫を看取り終えた 妻

ご近所の方から、昼夜逆転している場合どうしたらよいか？と尋ねられました。

※会員から

デイサービスなどで昼間しっかり活動すると夜寝てくれることが多いです。介護サービスの利用につなげるのが良いです。包括や介護予防センターに相談することをお勧めします。